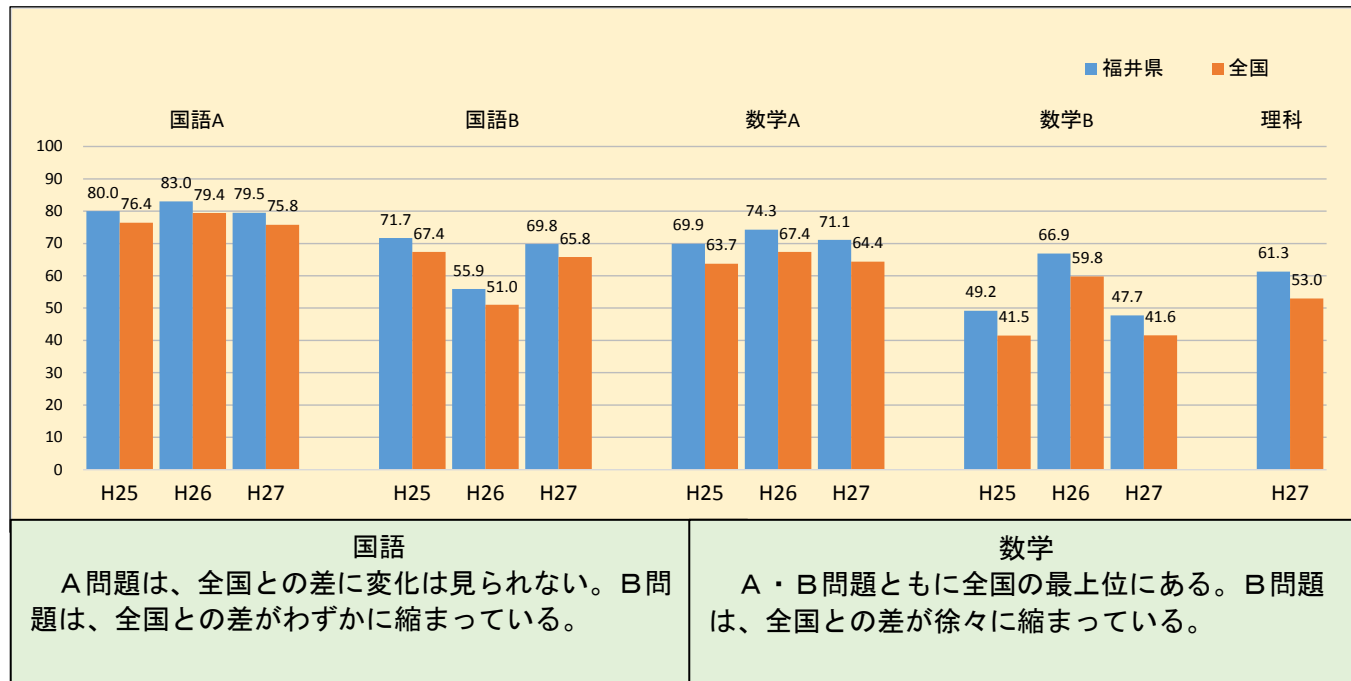


福井県の学力に関する現状分析と指導改善(中学校)

平成28年2月 福井県学力向上センター

全国学力・学習状況調査 3カ年の推移(平均正答率の比較)



全国学力・学習状況調査 生徒質問紙 「良好」・「課題」であること

「良好」であること

- 夢や希望を持ち、自分を肯定的に見つめ、ものごとをやりとげた際の達成感も味わっている。
- 人の気持ちがわかる、人の役に立ちたいなど、対人関係において良好な判断ができるとともに、規範意識も高い。
- 教科(国語、数学、理科)の学習内容をよく理解しており、記述問題にも粘り強く取り組んでいる。

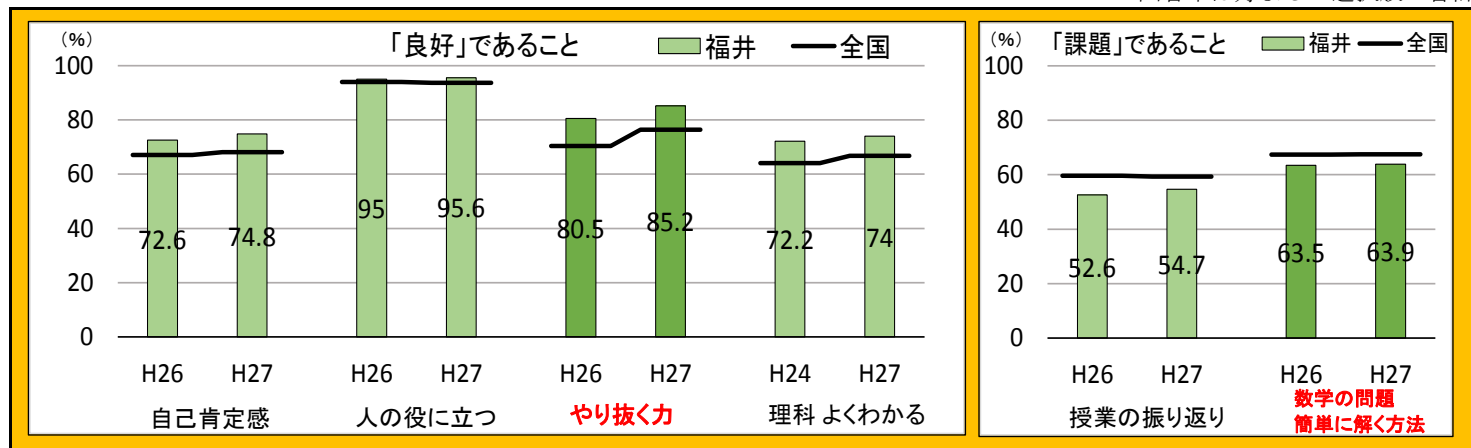
【学力との相関がある】

「課題」であること

- 授業の最後に学習内容を振り返る活動が不足している。
- 数学の問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えたり、数学で学習したことを普段の生活に活かそうとしたりしていない。

【学力との相関がある】

*回答率は好ましい選択肢の合計



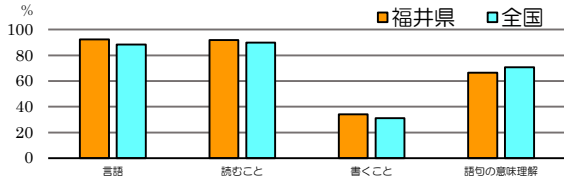
全国学力・学習状況調査 学校質問紙 「学力との相関から見える特徴」

次の質問項目に肯定的に回答した学校は、正答率が高い傾向がある。

- ・生徒は、熱意を持って勉強していると思う。
- ・様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をした。
- ・家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った。
- ・授業研究を伴う校内研修を前年度に多く実施した。
- ・学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている。

中学校国語

全国学力・学習状況調査（平成27年度）より



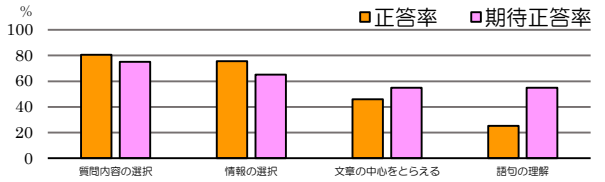
良好とみられる点

- ◇言語に関する知識・理解（漢字の読み書き・同音異義語）
- ◇言動の意味を理解することや情報を得て考えをまとめること

課題とみられる点

- ◆語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと
- ◆根拠を明確にして自分の考えを書くこと

SASA2015（第64次福井県学力調査）より



良好とみられる点

- ◇意見の説得力を高めるための質問内容を選択すること
- ◇多くの情報の中から同じ内容のものを選択すること

課題とみられる点

- ◆文章の中心的な部分をとらえ、その内容をまとめて書くこと
- ◆修飾語・被修飾語を理解すること

課題を克服するための指導事例

課題

語句の意味を理解し、適切に使うこと

間違いやすい語句（ことわざや慣用語）について継続して確認しよう

間違いやすい語句	○「間違いやすい」と明記して意識する。
短文づくり	○短文作りをすることで定着を図る。

- 〈間違いやすいことわざ例〉・青葉に塩・急がば回れ・井の中の蛙（大海を知らず）・馬の耳に念仏・えびで鯛を釣る
- ・絵に描いた餅・緑の下の力持ち・鬼に金棒・河童の川流れ・知らぬが仏・寝耳に水・糠に釘・花より団子
- ・馬子にも衣装・焼け石に水
- ・良薬は口に苦し・類は友を呼ぶ・笑う門には福来る



課題

文章の中心的な部分をとらえ、その内容をまとめて書くこと（説明的な文章）

Q&Aで文章の内容を紹介しよう

- ①各自でQ&Aを書く
- ②互いのQ&Aを検討し合う
- ③グループで「Q&A集」を作成する

例（光村）	例（東郷）
<p>〈1年〉「ダイコンは大きな根？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイコンはどの器官を食べているか ・器官が違うことで、味が違ってくるがなぜか 	<p>〈1年〉「オオカミを見る目」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オオカミに対する見方が違っているのはなぜか ・日本のオオカミのイメージが変化したのはなぜか

【発展学習】
Q&Aから抜き出したキーワードを使って文章を要約する活動につなげましょう。

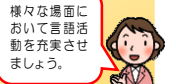
SASA2015 [C チャレンジ問題]

求められる学力

- ・複数の資料〔「連続型テキスト」（文章）と「非連続型テキスト」（図表等）〕を関連づけて読み取る力
- ・必要な情報を用いて、内容をまとめたり、自分の考えを書いたりする力

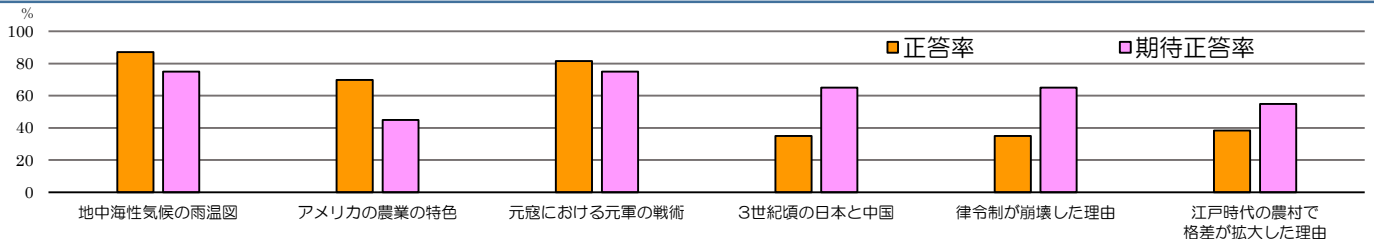
これからの授業において大切にしたいこと

- ☆教科書教材に合わせて、同じテーマの文章や作品、関連する表やグラフ等の資料を提示し、比較して読みながら考えを交流したり、記述したりする活動を取り入れましょう。
- ☆複数の資料から得た情報を、自分の知識や経験と結び付けて文章に書いたり、友達に話したりする活動を取り入れましょう。



中学校社会

SASA2015（第64次福井県学力調査）より



良好とみられる点

- ◇必要な条件を選んだり、概数による計算を用いたりして、統計資料を正確に読み取ること
- ◇元寇における元軍の戦術の特徴を指摘すること

課題とみられる点

- ◆日本の古代史について、東アジアとの関係から理解すること
- ◆歴史的事象の要因について、資料の読み取りをふまえ、多面的・多角的に考察すること

課題を克服するための指導事例

課題

日本の古代史について、東アジアとの関係から理解すること

日本の古代史について、各時代の特徴をテーマごとにまとめることで、時代を大観しよう。

〈例〉グループで、キーワードや写真、地図をボード型の年表上に配置していく学習活動

学習指導要領には、「東アジアの影響を受けながら国家が形成されていったことを理解させる」とあります。東アジアとの関係を示すキーワードは、必ず入れるように指導しましょう。

テーマ例	時代	日本の政治家	大陸との関係
日本の政治家	弥生	奴国王	漢に朝貢
		卑弥呼	魏に朝貢
大陸との関係	古墳	倭の五王	南朝へ使者
		聖徳太子	遣隋使
日本の文化	飛鳥	天智天皇	白村江の戦い
		奈良	聖武天皇
東アジアの地図		平安	桓武天皇
			遣唐使

課題

歴史的事象の要因について、資料の読み取りをふまえ、多面的・多角的に考察す

歴史的事象の目的や成果について、多面的・多角的に考察しよう。

〈例〉徳川綱吉の政策を評価する学習活動

○政策 ○目的 ○成果

◇自分の評価

◎最終評価

徳川綱吉の政策の中から1つ選び、各自ワークシートに調べ、評価する。

調べたことをグループで共有し、政策の功罪について討議、発表する。

自分が選んだ政策の最終評価をする。

江戸の四大改革や明治維新等の学習でも活用できます。

SASA2015 [C チャレンジ問題]

求められる学力

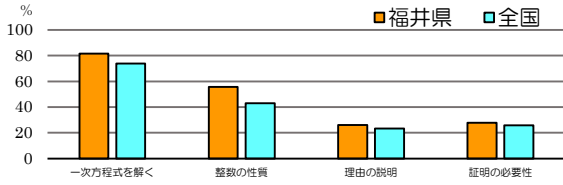
- ・社会的事象から課題を見つけ、その解決方法を思考する力
- ・資料の読み取りやその考察を通じて学習課題に対する自分の見解を表現する力

これからの授業において大切にしたいこと

- ☆生徒たちの探究心を喚起するような問いや学習課題を立てましょう。
- ☆統計資料から読み取った情報を活用して、課題の考察や説明ができるようにしましょう。
- ☆身近な地域の歴史や文化を題材としたレポート（郷土新聞や新聞紹介など）を通じて、時事問題について考えたり、ふるさと福井の魅力を発見したりする機会を増やしましょう。

中学校数学

全国学力・学習状況調査（平成27年度）より



良好とみられる点

- ◇四則演算や一次方程式を解くこと
- ◇整数の性質を文字を用いて説明すること

課題とみられる点

- ◆数学用語や数式を用いて事柄が成り立つ理由を説明すること
- ◆証明することの必要性を理解すること

課題を克服するための指導事例

課題

証明することの必要性を理解すること

- ①「三角形の内角の和が 180° であることの説明」として、次のA、B、Cを提示する。
A：一般的に正しく証明しているもの
B：ひとつの三角形をかき、内角を分度器で測っているもの
C：3つの三角形をかき、内角を分度器で測っているもの
- ②提示された3つの説明について、どの説明がよいかを選ぶ。
- ③その説明がよいと考えた理由を説明する。
- ④どんな三角形でも内角の和は 180° であることを証明しているのはどれかを話し合う。

厳密性だけでなく、有用性についても触れることがよいでしょう。



〈指導のポイント〉

全ての場合を調べ尽くさないと、証明にはならないことを理解することが重要です。

課題

空間図形の性質を理解すること

- 立体の模型を観察し、平面や線分の位置関係を確認して、色々な方向から見た見取図を作成する。
- 見取り図をもとに、展開図を作成する。
- 展開図を、実際に組み立てることで、もとの立体になることを確かめる。

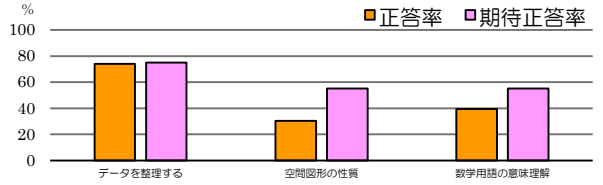
〈指導のポイント〉

空間図形は、実際に見て、触ってという経験が最も大切です。さらに、見取図と展開図を自分で作成していくことで、立体の構造を理解しやすくなります。

教科書に出てこないような立体図形を、ICTを用いて提示することで、興味関心は更に高まります。



SASA2015（第64次福井県学力調査）より



良好とみられる点

- ◇与えられたデータを目的に心じて整理すること

課題とみられる点

- ◆空間図形の性質を理解すること
- ◆関数や統計に関する数学用語の意味を理解すること

SASA2015 [C チャレンジ問題]

求められる学力

- 実社会に見られる事象を、既習事項を基にして数学化する力
- 条件変更された課題に対しても、得られた結果を利用して解決する力

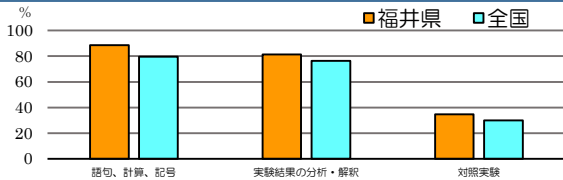
これからの授業において大切にしたいこと

- ☆携帯電話の料金プランなど、実社会に見られる事象を題材にしましょう。
- ☆料金プランを変更する場合としない場合について、今後1年間の料金総額を比較したいときにどのようにして考察するとよいか、といったように課題設定を工夫しましょう。

実社会で見られる事象を題材とすることで、数学の有用性が実感できます。

中学校理科

全国学力・学習状況調査（平成27年度）より



良好とみられる点

- ◇基本的な語句の知識や計算能力、記号を読み取る力
- ◇実験結果を分析して解釈すること

課題とみられる点

- ◆仮説を検証するために必要な対照実験を考えること

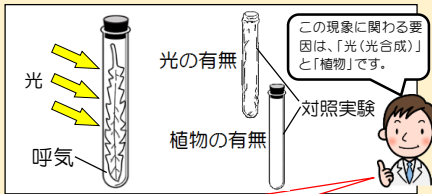
課題を克服するための指導事例

課題

仮説を検証するために必要な対照実験を考えること

- 現象に影響を及ぼす要因を整理して、それを比較する条件にして対照実験を考えさせる。

〈例：植物が光合成によって、二酸化炭素を吸収することを検証する実験〉



生徒に実験を計画させることで、実験を構想する力を育成しましょう。

課題

実験結果をもとに、正しいグラフを作成すること

- グラフ作成の手順をステップごとに示したワークシートを活用し、継続的に指導する。

〈ワークシートの例〉

ステップ	ステップ
ステップ1	横軸、縦軸を決めよう
ステップ2	軸の目盛りの間隔を決めよう
ステップ3	測定値を記入しよう
ステップ4	測定点の並び方を見極めよう
ステップ5	ステップ4で判断した「直線」、「曲線」を引こう

当研究所ホームページ教材研究支援システムから「グラフ作成完全マスター」をダウンロードできます。

SASA2015 [C チャレンジ問題]

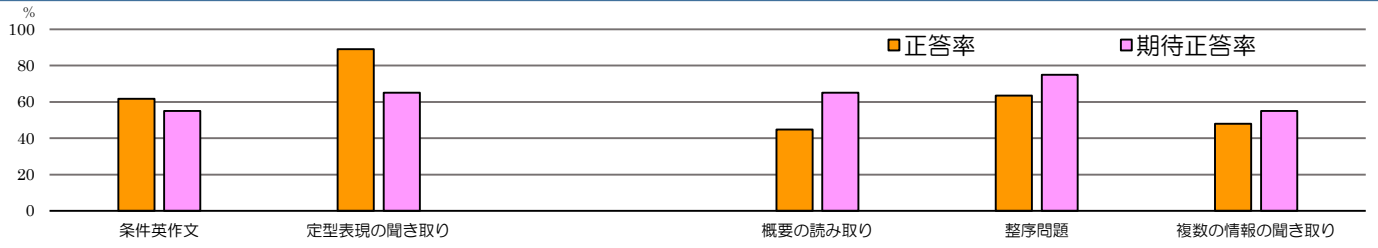
求められる学力

- 仮説を立てたり、条件を制御したりして、課題の解決に必要な実験を構想する力
- 実験結果に基づいて自分や他者の考えを多面的・総合的に考察する力

これからの授業において大切にしたいこと

- ☆導入で、課題を見いだせるような科学的現象を示し、現象に関わる要因を整理して仮説を立てさせましょう。
- ☆「変える条件」と「変えない条件」を設定し、実験を生徒に計画させましょう。
- ☆結果と考察のちがいを理解させ、科学的根拠を示しながら考察したことを表現させましょう。

課題解決に必要な思考力・判断力・表現力は、実験を通して育成しましょう。



良好とみられる点

- ◇条件を参考にして、適切な時制で英文を書くこと
- ◇単語レベルの情報や聞き慣れた定型表現を聞き取ること

課題とみられる点

- ◆概要を捉えて文章の内容を読み取ること
- ◆正しい語順やふさわしい表現を指摘すること
- ◆英文を聞いて、必要な情報を整理して聞き取ること

課題を克服するための指導事例

課題 概要を捉えて文章の内容を読み取ること

- 単語一つひとつの意味だけにとらわれず、文章全体から内容や流れを読み取らせる。

○発問の工夫

- 文章全体の内容や意図を問う発問を行い、概要を把握させる。

例：Q and A, T or Fを行う際には、答えの確認だけでなく、その根拠を本文から探させてクラス全体で共有する。

ざっと読んで大意を把握する skimming や情報を検索しながら読む scanning を併せて行うことも、題材によっては効果的でしょう。

課題 英文を聞いて、必要な情報を整理して聞き取ること

- 授業での英語使用機会を増やし、英語を聞く量を増やす。

○インタラクティブの活性化

- Teacher's talk の中で多岐にわたる様々な情報を話したり、その内容に関してやりとりしたりする。
- 内容に関して、時系列に事実を確認するなど、必要な情報を選び出せるようなやりとりをする。
- やりとりを行う際は、明示的・暗示的に間違いを修正して、情報を整理する力を身に付けさせる。

生徒に話すときは、様々な時制や否定表現なども織り交ぜるとよいでしょう。「昨日は～したが、明日は～するつもりだ」、「～する予定だったがしなかった」など

SASA2015 **[C チャレンジ問題]**

求められる学力

- 「読む」「書く」技能に加えて「聞く」技能を統合的に身に付け、実社会で起こり得る課題に対して主体的に判断する力

これからの授業において大切にしたいこと

- ☆教科書内容に関連した現実が起こりがちな場面設定をし、その中で達成すべきタスクを工夫しましょう。
- ☆タスクには、複数の情報や条件から自分の意見を決定できるものにしましょう。

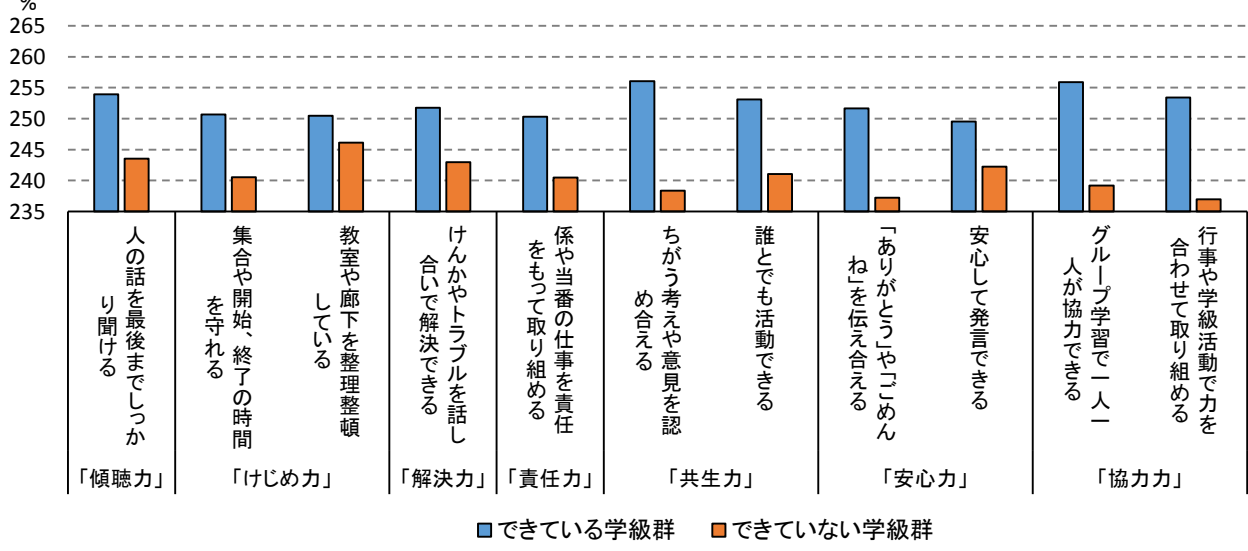
例：「電話でのやりとり」天気予報や映画のスケジュールなどの条件を考慮して、相手と週末の予定を調整する。

授業では、基礎・基本の定着も図りながら、4技能を統合させた活動を工夫して行いましょう。

SASA (福井県学力調査) 生徒質問紙 ー生活・学習・学級に関する調査と正答率との関連ー

学級の状態が良好なクラスは、正答率が高くなることが示されました。11個の学級ソーシャルスキルに関する質問別にみると、「みんなと違う意見や考えを認め合える学級」「グループ学習や班活動などで、一人ひとりがよく協力している学級」「発言している人の話を最後までしっかりと聞いている学級」ほど、正答率が高くなることが示されました。

各学級ソーシャルスキル別5教科合計正答率



※詳細については、福井県教育研究所HP (<http://www.fukui-c.ed.jp/~fec/>) の「SASA」内または「全国学調」内にありますので、ご活用ください。